

一

次の各問いに答えなさい。

問一 次の各文の―線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい

- 1 候補者の名前をレンコする。
- 2 駅のカイサツを通る。
- 3 これまでのドリヨクが実る。
- 4 失敗をハンセイする。
- 5 強い精神力を養う。
- 6 洗練された技術。
- 7 秘密を白状する。
- 8 先生の顔が脳裏に浮かぶ。

問二 次の熟語の意味を打ち消すときに頭に付ける語を、あとのア～エから一つ選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 完全
- 2 公式
- 3 解決
- 4 表情
- 5 発表

ア 無 イ 不 ウ 未 エ 非

二

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

ソチオリンピックの後、もう一つの大きな出来事が羽生選手を襲った。

2014年11月、グランプリシリーズ中国杯のフリープログラム直前練習で、中国の閻涵選手と衝突して流血。頭部にテーピング、顎に絆創膏をしたまま演技に臨むことになったときのことだ。あのショッキングなシーンは、今もはっきりと頭に思い浮かべる人は多いのではないだろうか。

I、羽生選手は棄権しなかった。

怪我をおしてフリーを滑りきり、とうとうグランプリファイナル出場の切符を手に入れた。その姿を、「素晴らしい」と (a) する声。「怪我をしてまで出るのは選手としてリスクが高すぎる」 (b) を表明する声。賛否は分かれた。

あの場面で怪我をおしてまでフリープログラムを滑ることがよかったかどうか、判断は難しい。だが、少なくとも「滑る」という強い気持ちを維持し続けていた姿がそこにはあった。

私が考える「チャンピオンの素質」の一つに、究極のポジティブシンキングがある。

どんな状況の中でも、自分が最も光り輝く姿を頭に描くことができるという資質。それを現実化させていく強さを持ちあわせているということの大切さ。例えば、大きなケガをして世界的な大会に臨まなければならない時。普通ならばプレッシャーや不安につぶされそうになるだろう。

だが、チャンピオンの思考はその正反対の軌道を描く。

II、怪我というハンディを負ったこの状態で勝ったとしたら、自分は真の王者になれるに違いない

逆境をポジティブに、どんなことでもポジティブに捉えていく。

柔道で言えば山下泰裕氏や古賀稔彦氏、相撲で言えば貴乃花 (現・貴乃花部屋親方) など、大怪我をして競技人生まで危ぶまれた時期があった。しかし、その場面を見事に乗り越えて輝かしきチャンピオンになった。逆境がチャンピオンを輝かせ、心に風化しないキオクを刻みこんでいくこともまた、事実だ。

III、人々の

羽生選手にも、そうした資質、根本的な強さというものを感ずる。

怪我をした後のグランプリファイナルに登場した彼は、繊細な美しさやエレガントさだけでなく、ふてぶてしいまでのたくましさや強さをも身にまとうていた。賞賛と批判、逆境と試練、さまざまな局面を通って、円熟や強靭さを身につけていくことが、真のチャンピオンへの道なのだ。彼は今、その途上にいる。

c 同じ意味で、女子フィギュアスケートの浅田真央選手についても、「チャンピオン」としての資質を感じる。

言葉は悪いかもしれないが、当初は国民の「ペット」的存在だったと思う。愛くるしい笑顔が人々を惹きつけ、「まおちゃん」と、まるで友達のように声をかけられ、アタタかく応援される対象ではあった。けれども、強靭さやたくましさ、凶太さや戦う意志といったものを感じる対象とは、少し違っていた。

トリプルアクセルに臨む重要なシーンになると、日本中がかたずをのんで見守った。

そして緊張に震えた。

浅田選手の表情も硬かった。

また失敗してしまうのではないか、転んでしまうのでは、という心配の方が勝っているように見えた。そして、本当に転んでしまうパターンが何度もあった。観客は、彼女自身の不安感や緊張感を共有していた。

IV ソチオリンピックが始まり、金メダルを期待されたショートプログラムで、浅田選手は転倒した。16位という、ソウゾウを超えた低い順位に沈んだ。「あの子は大事な場面で必ず転ぶ」という森喜朗元総理の発言が物議を醸したりした。思っても口に出してはいけなかった一言だった。

しかし、フリーに臨んだ浅田選手は違っていた。

トリプルアクセルを見事成功させただけでなく、ノーミスで完璧な滑りを堂々と見せつけた。そして、五輪史上6種類全部のトリプルジャンプを8回着氷した初の女子選手となった。

浅田選手は先の元総理の言葉に対して、「私自身、それを聞いたのは終わった後でした。人間なので失敗することもあります。失敗したくて失敗しているわけじゃありません」「私は別になんとも思っていないですけど、森さんは今、言ったことを後悔しているのではないかなと思います」と返した。記者会見の会場は拍手と笑いに包まれたという。

浅田選手はオリンピックという修羅場で、短い時間に、日本中を元氣付け感動させ勇気づける、たくましい選手へと変わっていったのだ。

浅田選手は、現役続行を表明した。次こそ、金メダリストになって欲しいと多くの人が願っている。ギリギリの厳しい状況の中で採ま^もれていくことで本当の強さを身につける——浅田選手には、そうしたチャンピオンの資質を感じる。

(山口香『残念なメダリスト』より)

※ フリープログラム……アイススケートの種目の一つ。ソチオリンピックのフィギュアスケート競技ではショートプログラムとフリープログラムの合計得点で順位が競われた。

問一 —— 線部①～③のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 空欄 **I** ～ **IV** にあてはまる言葉として適切なものをあとのア～オからそれぞれ選んで記号で答えなさい。

ア もし イ ところで ウ また エ しかし オ そして

問三 空欄 (**a**)、(**b**) に入るものとして適切なものをあとのア～オからそれぞれ選んで答えなさい。

ア 期待 イ 賞賛 ウ 恐怖^{きょうふ} エ 反対 オ 立腹

問四 —— 線部 A 「ポジティブシンキング」の説明として最も適切なものをあとのア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア どんなことにも賛成すること
イ 誰^{だれ}に対しても平等に接すること
ウ どんな時でも平和的であること
エ 何に対しても積極的であること

問五 —— 線部 B 「そうした資質」とあるがどのような資質のことか。本文より三十字以内でぬき出して答えなさい。

問六 ——線部**C**「同じ意味」とあるが、どのようなことが「同じ」だといふのか、次の文章に合うように本文中から平仮名五字でぬき出して答えなさい。

羽生選手も浅田選手も

--	--	--	--

 をもつ存在に変化したこと。

問七 ——線部**D**「かたずをのんで」の意味として最も適当なものをあとの**A**～**E**から一つ選んで記号で答えなさい。

A 安心して笑顔になって

I 気がかりで心配して

ウ 恐怖で震えて

E 不安で不機嫌ふきげんで

問八 ——線部**E**「ギリギリの厳しい状況」とあるが、浅田選手の場合は具体的にどのような状況だったか、説明しなさい。

問九 本文の内容として正しいものをあとの**A**～**E**から一つ選んで記号で答えなさい。

A 怪我をしてまでも演技を続けた羽生選手は選手として間違っている。

I チャンピオンは王者として、いつでも人々の期待に応えるべきだ。

ウ 浅田選手はソチオリンピックを経験し、本当の強さを身につけた。

E 金メダルをとる人は必ずチャンピオンになる資質を持っている。

三

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

遊んで欲しそうな顔つきのたるを横目で見ながら、アキコはベッドパッドや掛布団を商店街とは反対側の、裏手の窓枠にかけた。屋上に行けば物干し場もちゃんとあるのだが、最近ではカラスが多く、午後になって行ってみたら、彼らのフン害に見舞われて、後始末が大変だったことがあるので、布団干しも窓枠にひっかけて、簡単に済ませるようになってしまった。

次は棚やタンスのホコリを拭き取り、床に一気に掃除機をかける。掃除機の音が大嫌いなたるは、掃除機を出したとたん、すっとんでいき、室内でいちばん安心できる、クローゼットの奥の奥に避難した。ものすごく嫌そうな顔をして、冬物のコートIの陰の隅すみつこにまるまわっているたるに、アキコは、

「ちよつと我慢しててね」

と声をかけた。

「にー」

たるは情けない小さな声で返事をして、横を向いた。毎日、フローリングモップをかけているので、そんなに汚れていないように見えたが、家具の後ろや隅すみつこには、たるの毛やらほこりが溜たまっていた。それをぐいぐいと吸い取りながら、店と同じくらい、自分の部屋もちゃんとしなくちゃなあとおアキコはつぶやいた。

母がいたころは、彼女の部屋は店と同じように、物があふれてごっちゃごちゃだった。^②社交的な人だったので頂き物も多く、置物の類たぐいや器やら、年代順にベッドの横に積み上げられていて、下のほうにはいったい何があるのかもわからないほどだった。しかし母は、

「必要なものはどこにあるかわかってる」

という張り、アキコが、

「じゃあ、団扇はどこにあるのよ」

というとき、迷わずその積み上げられた箱の隙間すきまから

II

団扇を取り出し、

「ふふん」

と得意げに笑った。そして頼みもしないのに、次にカーテンの後ろに追いやった、小ダンスの引き出しの中から、商店街で配られた、プラスチックの骨の安っぽい団扇を取り出し、

「あんたにあげる」

とよこしたりした。いちおう収納場所もあるのだから、使いやすいように季節に^A応じて、出し入れすればいいのに、母は日常使うものは全部、部屋の中に出していた。押し入れに入っているものは、大昔に出席した結婚式の引き出物や、使わなくなった器、古くなった毛布、布団、三面鏡とセットになっていたストールなど、重たい物ばかりだった。ただでさえ処分しないのだから、物は増える一方で、アキコの目から見たら、倉庫のなかにいるようだった。

それに比べたら、今は空間がたくさんある。窓を開ければさーっと空気が通っていく。本当ならば、母が生きているうちに、このようすがすがしい環境^{かんきやう}だったらよかったのと思ったが、母はあの物だらけの部屋で、埋^うまれるようにして過ごしているのが好きだったのだ。

深夜、常連さんとの飲み会が終わると、

「よっこいしょ」

とベッドに腰掛け、

「はああ」

と深く息を吐いた。そしてしばらく呆然^{ほうぜん}とすると、ずりずりと床にへたりこみ、ベッドによりかかって、また、

「はああ」

と息を吐いた。そしてにっこり笑って、

「お嬢^{じやう}さん、お使い立てして申し訳ないですけどね、ほうじ茶を一杯、いただけますか」

とアキコに頼む。年々、体力的につらくなっていただろうに、知っている限り、母は疲れたといわなかった。娘^{むすめ}に心配をさせないためか、本当に疲れていなかったのかはわからない。

「あたしはあたしで、ちゃんとやってるよ」

と意地を張っていたのかもしれないと、アキコは

Ⅲ

考えた。

(群ようこ『パンとスープとネコ日和』より)

問一 ――線①く③の本文中における意味として適切なものをそれぞれあとのアくエから一つ選んで記号で答えなさい。

① 「横目で見ながら」

- ア うらやましそうにして
イ あまりかかわろうとせず
ウ 完全に無視して
エ 腹立たしく思いながら

② 「社交的」

- ア 几帳面きちょうめんで、整理整頓せいとんを好む
イ 片付けが苦手で、面倒めんどうくさがり
ウ 人の上に立つ人物で、従う者が多い
エ 人付き合いがじょうずで、知り合いが多い

③ 「意地を張っていた」

- ア いばっていた
イ 強つよがっていた
ウ 意地悪いぢあくをしていた
エ 怒おこっていた

問二 ――線②く③は誰のことをさしている言葉か。あとのアくエから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 母 イ たる ウ アキコ エ カラス

問三 空欄 I く III にあてはまる語句として適切なものを、あとのアくエからそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

ア ぴゅーっと イ ちらっと ウ さきっと エ だらっと

問四 ――線部 A 「季節にに応じて、出し入れすればいい」とあるが、同じ事を意味する語句をあとのアくエから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 模様替かえ イ 衣替かえ ウ 大掃除 エ 引越ひっこし

問五(1) ――線部 B 「母は日常使うものは全部、部屋の中に出していた」とあるが、このような部屋の状態を他のものに例えて表現している部

分を十三字でぬき出して答えなさい。

(2) また、「母」はなぜ部屋をこのような状態にしていたと「私」は考えているか、説明しなさい。

問六 — 線部 C 「にっこり笑って」とあるが、「母」はなぜ笑ったと考えられるか。その理由として間違っているものを、あとのア〜エから一

つ選んで記号で答えなさい。

- ア 疲れを見せずに、いつもと同じように振舞おうとしているから。
- イ 用事を頼むアキコが少しでも気分を悪くしないように気をつかっているため。
- ウ 気持ちを切り替えて自分で自分をはげますようにするため。
- エ ほうじ茶を飲むことができるを知って、嬉しさがこみ上げてきたから。

問題は以上です。